



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 富士精工株式会社
 コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 近藤 規央
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 0565-53-6611

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	15,200	4.4	410	89.9	640	92.6	309	15.9
29年2月期第3四半期	14,556	10.7	216	78.0	332	74.2	266	67.5

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 830百万円 (%) 29年2月期第3四半期 811百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	16.45	16.44
29年2月期第3四半期	13.72	13.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	24,975	17,187	60.3	809.45
29年2月期	23,619	16,583	61.5	767.69

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 15,067百万円 29年2月期 14,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		3.00		3.00	6.00
30年2月期		3.00			
30年2月期(予想)				5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成30年1月12日)公表いたしました「配当予想の修正(創立60周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,390	0.0	460	335.4	710	131.2	450	51.2	23.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	21,533,891 株	29年2月期	21,533,891 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	2,919,060 株	29年2月期	2,615,319 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	18,797,559 株	29年2月期3Q	19,451,614 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に足下では雇用情勢・所得環境の改善が続いたことに加え、企業収益の回復に連動して設備投資にも持ち直しの動きがみられるようになり、全体としては緩やかな回復基調が続いております。

わが国経済におきましては、海外経済の回復を背景に輸出の増加が続くとともに、個人消費を中心とした内需の持ち直しもみられ、景気は回復基調を維持しております。一方で、海外政治動向による経済情勢の不透明感緩和しつつあるものの、中国経済成長率の鈍化や北朝鮮情勢など地政学リスクの高まりによる景気下振れへの懸念材料は依然として残っております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、企業業績は堅調に推移し、今後の設備投資に対する期待感はあるものの、世界経済の動向、環境対応、国内市場対策など不安要素もあり、経済環境の先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては「グループ中期経営計画」の達成を目指し、新事業推進部を立ち上げ積極的な事業展開に向けた足場づくりに着手しました。また、意思決定の迅速化を目的に取締役会をスリム化し、機動的な事業展開ができる体制づくりを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は152億円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は4億1千万円（前年同四半期比89.9%増）、経常利益は6億4千万円（前年同四半期比92.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、受注環境の回復が見られたものの、売上高は82億6千7百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。また、平成28年4月に発生した熊本地震の影響を脱し、売上原価の圧縮が進んだことなどから、セグメント利益は1億8千7百万円（前年同四半期は5千6百万円のセグメント損失）となりました。

②アジア

当地域におきましては、中国において工具需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は41億4千4百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。また、各連結子会社において経費圧縮に努めたものの労務費が増加したことなどにより、セグメント利益は1億3千4百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、自動車産業界の回復基調が鮮明になり、工具製品の受注が増加したことなどにより、売上高は15億1千6百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。また、アメリカ子会社において労務費を削減したことなどにより生産性が向上し、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期比43.9%増）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は9億7千4百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。また、材料費の削減を進めた一方で労務費や経費が増加したことなどにより、4百万円のセグメント損失（前年同四半期は4千8百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は2億9千7百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比97.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は249億7千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して、13億5千6百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が4億7千7百万円、有価証券が3億9千1百万円、投資有価証券が2億3千1百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は77億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して、7億5千2百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が2億7千9百万円、賞与引当金が1億7千4百万円、支払手形及び買掛金が1億3千4百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は171億8千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して、6億3百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が2億1百万円、利益剰余金が1億9千6百万円、退職給付に係る調整累計額が1億6千9百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は60.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月13日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845,402	5,322,997
受取手形及び売掛金	3,672,119	3,824,547
電子記録債権	1,185,384	1,187,071
有価証券	468,987	860,805
商品及び製品	1,348,137	1,449,341
仕掛品	484,633	612,078
原材料及び貯蔵品	409,758	447,006
繰延税金資産	184,428	280,217
その他	315,614	256,101
貸倒引当金	△63,238	△63,615
流動資産合計	12,851,227	14,176,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,343,066	2,261,282
機械装置及び運搬具(純額)	3,874,632	3,790,183
土地	1,464,978	1,484,163
建設仮勘定	67,955	34,122
その他(純額)	195,899	176,442
有形固定資産合計	7,946,532	7,746,194
無形固定資産	231,863	223,461
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,673	2,352,810
長期貸付金	3,881	2,859
繰延税金資産	337,944	318,416
その他	158,039	187,394
貸倒引当金	△31,758	△31,758
投資その他の資産合計	2,589,780	2,829,722
固定資産合計	10,768,176	10,799,378
資産合計	23,619,403	24,975,930

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,200,791	1,335,737
短期借入金	479,638	482,248
1年内返済予定の長期借入金	91,605	81,686
未払法人税等	33,293	313,014
賞与引当金	131,977	306,139
災害損失引当金	2,570	—
その他	1,125,185	1,160,961
流動負債合計	3,065,061	3,679,787
固定負債		
長期借入金	229,454	235,524
繰延税金負債	13,175	42,036
退職給付に係る負債	3,516,014	3,627,248
その他	212,077	203,898
固定負債合計	3,970,720	4,108,706
負債合計	7,035,782	7,788,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,147,458	4,144,550
利益剰余金	9,228,105	9,424,491
自己株式	△715,049	△805,332
株主資本合計	15,542,531	15,645,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547,080	616,471
為替換算調整勘定	△160,905	41,043
退職給付に係る調整累計額	△1,405,016	△1,235,450
その他の包括利益累計額合計	△1,018,841	△577,935
新株予約権	26,248	20,800
非支配株主持分	2,033,683	2,098,845
純資産合計	16,583,621	17,187,435
負債純資産合計	23,619,403	24,975,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	14,556,033	15,200,084
売上原価	11,612,093	11,893,405
売上総利益	2,943,939	3,306,678
販売費及び一般管理費	2,727,624	2,895,873
営業利益	216,315	410,805
営業外収益		
受取利息	22,655	27,847
受取配当金	20,888	19,150
持分法による投資利益	74,974	76,513
為替差益	—	40,964
その他	95,799	82,067
営業外収益合計	214,317	246,543
営業外費用		
支払利息	11,091	11,230
売上割引	123	276
為替差損	81,854	—
その他	5,091	5,569
営業外費用合計	98,161	17,076
経常利益	332,471	640,272
特別利益		
固定資産売却益	5,547	1,883
投資有価証券売却益	21,319	4,611
新株予約権戻入益	2,760	2,928
受取保険金	30,300	—
特別利益合計	59,927	9,423
特別損失		
固定資産除売却損	43,249	6,355
災害による損失	126,800	11,534
貸倒引当金繰入額	181	—
特別損失合計	170,231	17,890
税金等調整前四半期純利益	222,167	631,804
法人税、住民税及び事業税	192,050	346,817
法人税等調整額	△307,805	△78,297
法人税等合計	△115,755	268,520
四半期純利益	337,922	363,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	71,008	53,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	266,914	309,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	337,922	363,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,286	69,391
為替換算調整勘定	△1,306,699	145,738
退職給付に係る調整額	160,708	169,535
持分法適用会社に対する持分相当額	△75,257	82,730
その他の包括利益合計	△1,148,962	467,396
四半期包括利益	△811,039	830,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△565,956	750,201
非支配株主に係る四半期包括利益	△245,083	80,479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,214,725	3,879,280	1,320,110	832,337	14,246,453	309,580	14,556,033	—	14,556,033
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,531,906	640,603	1,028	—	2,173,538	13,863	2,187,401	△2,187,401	—
計	9,746,631	4,519,884	1,321,138	832,337	16,419,991	323,443	16,743,435	△2,187,401	14,556,033
セグメント利益又 は損失(△)	△56,015	200,523	38,651	△48,056	135,102	23,235	158,337	57,977	216,315

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,267,396	4,144,649	1,516,047	974,289	14,902,383	297,700	15,200,084	—	15,200,084
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,484,961	565,854	2,355	—	2,053,171	13,522	2,066,693	△2,066,693	—
計	9,752,358	4,710,504	1,518,402	974,289	16,955,554	311,222	17,266,777	△2,066,693	15,200,084
セグメント利益又 は損失(△)	187,235	134,915	55,620	△4,583	373,188	477	373,665	37,139	410,805

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。